

歴代国際交流員

◆ 大府市国際交流員

両市の20年間に渡る交流を縁の下の方持ちとして支えてきたのが、大府市国際交流員です。大府市は姉妹都市提携前年の1992年より国際交流員を1名設置しています。現在の国際交流員は5人目で、1994年に採用された2人目からは、ポート・フィリップ市にて募集・面接してもらい大府市で雇用する形式をとっています。

国際交流員は姉妹都市交流に関する業務のほかにも、保育園等での国際交流理解講座の開催、大府市国際交流協会行事の支援、英語による外国人住民の生活相談対応、行政文書の翻訳、国外からの来客に対する通訳・応接など、様々な業務に従事しています。

大府市の姉妹都市交流、国際交流、多文化共生に向けた取り組みを支える存在。これからも国際交流員の活躍により、大府市はポート・フィリップ市との交流を、より深く、意義深いものにしていきたいと考えています。

◆ 歴代国際交流員からのメッセージ

1992年～1994年 ボニー・マカラム

大府市で国際交流員として働いた時間は、日本滞在中一番楽しい時間でした。皆さんの温かさを感じて、とても居心地が良かったです。

着任中は、素敵な経験がたくさんありました。吉田小学校で給食を食べたのですが、子どもたちが上手に準備と片付けをすることに感動しました。大府市国際交流協会と一緒にクリスマスをお祝いした時は、終わるのが悲しかったくらい本当に楽しかったです。消防士の皆さんに英語を教えようとした時は、あまり上手に教えられなくてごめんなさい！石ヶ瀬会館の皆さんと一緒に旅館へ行って、浴衣を着てカラオケで歌い明かした夜もありました。オーストラリア・フェスティバルを開催したことも大切な思い出です。セント・キルダ市で生まれ育った私の父が送ってくれた物産品は、開始5分で売り切れたほど大人気でした。公民館でオーストラリアを紹介したり、オーストラリア料理を教えたこともあります。皆さんが私の下手な料理に対して優しい言葉を掛けてくださいました。

大府市役所の雰囲気はとても良かったです。企画政策課の方をはじめ、皆さん本当にありがとうございました。私を初代国際交流員として雇ってくださり、セント・キルダ市（現ポート・フィリップ市）との姉妹都市提携に貢献させていただけたことに感謝しています。

姉妹都市提携20周年、おめでとうございます。今後の交流も素晴らしいものになりますようお祈りします。

1994年～1997年 キャサリン・ギティンズ

大府市の皆様、こんにちは！私は1994年2月から1997年12月まで4年弱、大府市の国際交流員として働かせていただきました。その間に本当にたくさんの人にお世話になりました。皆さん、その節はありがとうございました。

大府市国際交流協会のメンバーと一緒にクリスマス会、運動会、ハイキング、環境フェスタでのペンギン募金などの色々な事業の企画、運営が出来たことは、楽しい思い出として心に残っています。

また市役所の様々な事業へも参加しました。たくさんの人と出会うことができ、毎日違うことが経験できる楽しい仕事だったと思います。荒池保育園・公民館での講演会、料理教室、英語サロンなどの多様な経験ができたことを嬉しく思います。

姉妹都市関係の仕事もたくさんありました。相互訪問の企画、通訳・翻訳はもちろん、劇団シアターワークスが1995年に大府市へ来たことや、1996年に大府市の皆さんと一緒にポート・フィリップ市を訪問できたことは特に印象に残っています。この2つが4年間で印象的な出来事であったと思います。

姉妹都市20周年おめでとうございます。また皆さんと会える日を楽しみにしています。

1997年～2001年 ブロンティ・ニールンド

大府市で3年間過ごしたことで、友情を育むとともに素晴らしい思い出を作ることができました。この経験から自分の将来も決まりました。大府市にいる間、上司や同僚からのサポート、大府市国際交流協会の熱心さ、そして私を受け入れてくださる市民の皆さんの温かさに感動していました。

思い返せば、今あの頃のように職場へたくさんの新しいアイデアを提案できる自信はありません。あの頃は若かったですし、当時の皆さんのご協力もあり、数多くの提案を実現していただくことができました。毎週水曜日の英会話デーなど、私の色々なアイデアが形になりました。

私にとってはスポーツが、最も市民や職員の皆さんと接しやすい方法でした。とうちゃんソフトボールをはじめ、バドミントン、市役所の同僚とのサイクリング、バスケットボールなど、どれも本当に大切な思い出です。

大府市ではたくさんの人が一緒に大切な時間を過ごしてくれました。仕事のことだけでなく個人的なこともたくさん助けていただいた方もいます。大府市で素晴らしい時間を過ごさせて下さり、本当にありがとうございました。



(右) ボニー
(中) キャサリン
(左) ブロンティ

歴代国際交流員

2001年～2011年 アダム・シモンズ

大府市の国際交流員として長年、ポート・フィリップ市との姉妹都市交流に関わらせていただきました。その間の数えきれない思い出の中でも印象的なものの一つは、中学生海外派遣事業に関わらせていただいたことです。

毎年、出発前の研修で緊張した表情を見せる生徒が多くいましたが、ホームステイ、学校、姉妹都市の視察などで現地の人びとの交流を終えた後の帰国報告会では、別人かと思うほど笑顔を見せる生徒がほとんどでした。英語の生活体験を生き延びることができたことだけでホッとしている生徒もいたかもしれませんが、オーストラリアでの体験が刺激になったことは、帰国した生徒の顔を見て感じました。

これからも、姉妹都市交流が多くの若い市民に刺激を与え続け、関わられたすべての人びとにとって何かのきっかけになることを祈念いたします。

2011年～現在 エレン・ウー

皆さん、こんにちは。2014年現在の国際交流員エレンと申します。2011年2月に着任してあっという間に3年間が経ってしまいました。この仕事はとてもやりがいのある仕事だと感じます。なぜなら、言語の壁で困っている外国人を助けることができるからです。また、市の行事や大府市国際交流協会のイベントを通して地元の人々に出会ったり、オーストラリアのことを紹介したりして草の根の国際交流ができることが一番面白くて楽しいところだと思います。

私は5代目ですが、オーストラリアで生まれ育った中国系の国際交流員としては初代です。中国にルーツを持つオーストラリア人である私が大府市で皆さんと一緒に働いたり遊んだり暮らすことで、大府市の皆さんはオーストラリアのような多文化共生社会を目の当たりにすることができると思っています。

オーストラリア人として、また大府市民として、私は大府市とポート・フィリップ市が強い絆で結ばれた積極的な姉妹都市関係を持っていることをとても誇りに思います。これからも大府市の国際交流員は代々続いていくことと思いますが、私が大府市に勤めている限り、姉妹都市関係がますます発展し続いていくよう全力を尽くしたいと思います。



アダム



エレン

大府市 ポート・フィリップ市 姉妹都市提携 20 周年記念誌

発行：愛知県大府市
大府市中央町五丁目 70 番地
発行日：平成 26 年 6 月